

# 2024年度 メリー★ポピンズ 稲城ルーム(本園・分園) 事業計画書

## Ⅰ. 基本方針

### 【法人理念】

「にんげん力。育てます。」

### 【子育て目標】

「センス・オブ・ワンダー」

子どもの感性を育てるため、様々な本物の体験、本物に触れる体験ができる機会を作っていく。また、子ども自らが「やりたい」と思うことを実現できる環境を作っていく。

「人対人コミュニケーション」

異年齢、異文化など、様々な人と関わったり、話したり、遊んだりする中で、物怖じせず、自分の思いや意見を言葉にできる子どもを育てる。

### 【運営本部MISSION】

「生活力の体得」

大人が手本を示し、背中で教えたり、一緒に取り組んだりしていくことで、子どもが自分で考え、行動できる力を養う。

「10の姿の体得」

就学に向けて小学校を見学や、毎日の仕事、話し合いの機会を保育の中で作っていくことで、ルールや協調性が身につくよう取り組んでいく。

「子どもが自らいつでも経験の選択をすることができる物的環境の設定」

子どもがやりたいことをやりたいときに実現できるよう、様々な玩具や材料が用意された環境を設定していく。

喧嘩やトラブルがあっても、無理に止めることはせず、葛藤や我慢といった気持ちを育てられるよう適切な距離感で見守っていく。

### 【園目標】

「チーム稲城で作ろう！明日も来たいあたたかい園」

## 〈Ⅰ〉 保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	インクルーシブ保育の実践
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の子どもの発達を理解し、関わり方、遊びの提供を考察していく。</li> <li>・園内外のハザードマップのより綿密な更新と全スタッフの理解。</li> <li>・事故防止委員会の充実（インシデントの検証、再発防止策の徹底）</li> </ul>
2	計画・ねらい	本園分園の交流を密に図る。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の散歩や行事から本園分園合同の活動を企画し、交流の機会を増やすことで、滑らかな移行を促進する。</li> </ul>
3	計画・ねらい	日課・基本保育活動の充実を図る。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイリープログラムに沿った保育をするため、スタッフの動きや立ち位</li> </ul>

		置を考察し、最適な見守り方をしていく。 ・日課、基本活動の意味を全スタッフが理解し、子ども、保護者にスタッフ自身の言葉で伝えるようにしていく。
--	--	--

## 〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	保護者の心に寄り添った対応
	実践予定内容	・保護者対応では、1日の様子を伝えることはもちろんのこと、保護者の話を傾聴する姿勢を忘れず、何気ない表情や会話から変化を読み取り、適切なコミュニケーションをとっていく。
2	計画・ねらい	保育参加・個人面談の積極的な実施
	実践予定内容	保護者の希望に加え、園からも積極的に保護者参加を促していき、子どもの状況や課題についてともに理解し、家庭と園とが同じ目線で子育てできるようにしていく。
3	計画・ねらい	誰がいつ見ても気持ちの良い施設
	実践予定内容	・来訪者、保護者の目線で施設の整備をする。 ・必要物品は定位置がある状態にし、必要なものだけが設置されている状態を保つ。

※適宜追加削除してください

## 〈3〉 地域の子育て支援事業

(施設長への確認ナビゲーション) 施設長自身が自園の地域子育て支援に於ける課題を抽出し、次年度特に力を入れて改善したいこと・向上したいことを記載してください。平成30年に改訂された新・保育所保育指針でも「地域に開かれた子育て支援」というキーワードが新たに加わり、保育園が地域の核の拠点となってゆく重要性が問われています。(以上のナビゲーションは、本事業計画書を入力する際に削除してください。)

1	計画・ねらい	ちきんえっぐ行事活動の充実
	実践予定内容	自然食堂や寺親屋に加え、マジックショーなどのイベントも取り入れていく。
2	計画・ねらい	青空保育の充実
	実践予定内容	月1回、亀山下公園で実施。参加者にはおたよりを配布し、リピーターを増やす。

## 〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	全スタッフのMBO目標設定から達成までマネジメントする。
	実践予定内容	・スタッフの特性、個性、長所を活かせる目標設定をスタッフ主体で導き出し設定する。進捗状況を確認しながら、課題があれば原因要因を一緒に考え、目標達成していく。 ・良好な関係づくりのため、スタッフ面談を定期的実施する。
2	計画・ねらい	スタッフによる園内研修の実施
	実践予定内容	・園会議内でスタッフが講師となり、様々なテーマで研修やロールプレイ等を実施し、学びを深める。
3	計画・ねらい	系列園やつむぎとの交換研修の実施

	実践予定内容	他園での研修の機会を作り、新たな視点や考えを学び、それを自園の保育に活かしていく。
--	--------	---

### 〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	継続してコンポストに取り組んでいく。プランターの土づくりをする。
	実践予定内容	・子どもと一緒にコンポストを作り、自分たちが育てている野菜の土づくりに繋がることや、身近にできるごみを減らす活動を意識していく。
2	計画・ねらい	「作る」と「食べる」がつながる食育の推進
	実践予定内容	・残菜を減らす取り組みとして、調理や栽培にかかわる取り組みを大切にする。食材の生産や調達、調理に触れ、作る人の気持ちも大切にする。

### 〈6〉プロジェクトを立ち上げ、保育運営の向上を目指す（施設長が力を入れて取り組みたい内容）

1	計画・ねらい	SDGs・食育プロジェクトの立ち上げ
	実践予定内容	食の循環、水の大切さ、命をいただいている意味を子ども達ができるようプロジェクトを上げて毎月計画的に取り組んでいく。
2	計画・ねらい	内部監査・環境プロジェクトの立ち上げ
	実践予定内容	運営マニュアルに沿った保育ができるようプロジェクトを上げて毎月計画的に取り組んでいく。また、園内や敷地内の環境についてもリーダーを中心に会議を行い、子どもの姿に合った環境を整えていく。

### 〈7〉スタッフのにんげん力の向上（施設長が力を入れて取り組みたい内容）

1	計画・ねらい	リーダー層を中心に全スタッフが適切なタスク管理を行い、組織マネジメント力を向上していく。
	実践予定内容	毎月の園会議でスタッフのタスクを洗い出し、リーダー中心に保育時間の中で指導準備の時間を確保していく。
2	計画・ねらい	各種会議の充実
	実践予定内容	報告するだけの会議ではなく、園を良くするためのディスカッションが遂行される会議を目指していく。

## 2. 施設運営

### 〈1〉施設情報

児童定員（本園）

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6人	6人	6人	16人	16人	16人	66人

## 児童定員（分園）

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6人	10人	10人				26人

## 〈2〉開所時間

本園 7時00分～20時00分

分園 7時00分～18時00分

## 〈3〉スタッフ構成（3月1日時点）

常勤 スタッフ	保育士	10人	看護師	0人	栄養士	3人	産休	3人
スタッフ	保育士	10人	事務	1人	用務	1人		

## 3. 運営方針

## 〈1〉施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回120分	保育計画の確認、自己評価、スタッフによる園内研修等
給食運営会議	月1回	乳幼児の喫食状況を把握、食育の目標について食育活動の周知、献立の振り返り等
事故防止委員会	月1回	自園、他園で起きた事故やインシデントの周知、どうすれば防げるか対応策、具体的行動について等
ケース会議	月1回	要支援児の姿、個別支援計画の内容、振り返り等
リーダー会議	月1回	本部からの情報提供、園運営に関すること
クラス会議	週1回	子どもの姿、保育計画、振り返り、本園分園合同クラス会議等

## 〈2〉法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	法人全体の動向報告、各園の運営状況報告等

施設長勉強会	月1回	委員による講義、各園の保育活動の取り組み発表、評価、振り返り等
食育会議	年4回	食育計画の見直し、各園の食育の取り組み発表等
保健会議	年4回	保健計画の見直し、各園の食育の取り組み発表等
主任会議	年4回	主任の立場で、園の課題解決に取り組み、共有
子育ての質を上げる会議	月1回	各園の保育活動の取り組み発表、評価、振り返り、テーマに沿ったグループディスカッション等

### 〈3〉各種系の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	児童健康管理、感染症予防対策、予防接種状況の把握と啓蒙 月毎の保健計画の実施、保健に関する書類作成等
安全対策係	設備点検、人権チェック、事故記録、インシデント、ヒヤリハット記録、分析管理、衛生推進者の職務遂行等
防火管理者	消防計画の作成と届け出、自主検査チェック（日常）避難、消火、通報訓練の実施管理、防災対策、自衛消防隊の編成等
食品衛生責任者	衛生管理点検表、職員細菌検査実施、食品衛生上の管理等
清掃・備品チェック係	掃除、備品点検がしっかりされているか、掃除表の記入漏れがないかの確認等
生き物係	生き物の飼育管理等
アルバム係	毎月の写真販売の確認（ぶれた写真、同じ写真の消去、販売促進等）
絵本係	絵本の入れ替え、管理、おすすめ絵本紹介等

### 〈4〉行事別系の設置

係名	職務内容・役割
どろんこ祭り係	どろんこサポーターとの交流計画の作成、連絡、実施等

## 4. 保育方針

### 〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育者と信頼関係を築き、安心できる環境の中で食事、睡眠などの生活リズムを整え、ゆったりと落ち着いて過ごす。</li> <li>・ 身近な人と親しみ、関わり合いを深める中で、人と関わる心地良さを感じる。</li> <li>・ 身の回りのことに親しみ、見る、触れる、探索するなど身近な環境に自分から関わろうとする。</li> </ul>
	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども自ら体を動かすことを楽しみ、様々な動きを試みようとする。</li> <li>・ 身近な環境に親しみ、触れ合う中で様々なものに興味関心をもつ。</li> <li>・ 様々な感覚を経験し味わいながら、感じたことや考えたことを自分なりに表現しようとする。</li> </ul>
幼児保育	上半期 3～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な生活習慣を身に付け、喜びながら意欲的に生活する。</li> <li>・ 異年齢で生活をする中で思いやりの心、協力し合う心を養うと共に達成感を知る。</li> <li>・ 身近な人と親しみ、関わりを深めるとともに工夫したり協力したりする楽しさを味わい、信頼感が育つ。</li> </ul>
	下半期 2～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で、子ども自ら関わったり発見したり考えたり、扱ったりする中で様々な事象へと興味関心が広がる。</li> <li>・ 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わい、人と伝え合う喜びを感じる。</li> </ul>
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 随時、希望する保護者に対し実施</li> <li>・ 「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用</li> </ul>
意見・要望への対応	随時	・ 連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	6月と11月に実施予定

### 〈2〉年間行事計画

- ・ 2024年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2024年度年間スケジュール」に掲載
- ・ 保育参加・保護者面談は随時開催

### 〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	・多くの人に囲まれ楽しく食べる環境を整えることで、人と共に食べる楽しさを感じる。
	実践予定内容	・手にとって食べられる食材を提供し「自分で食べたい」という意欲を養う。 ・柔らかい食材だけでなく、歯ごたえのある食材も提供することで、あごを鍛え脳に刺激を与える。 ・なるべく薄味で添加物の少ない食材を提供することで、それぞれの食材のもつ自然の味や食感を知り、食材の「美味しさ」を実感する。
2	計画・ねらい	・種蒔きから収穫を体験、クッキングなどの調理体験をしながら、その過程を理解することで、食材に興味をもち、自然の有難さ、作る人の気持ちを感じ、食べ物を大切にすることを育む。
	実践予定内容	・畑活動、調理体験、商店街ツアーなどを通して五感を使い食に興味関心が持てるようにする。
3	計画・ねらい	・園全体で取り組む食育にしていく。
	実践予定内容	・保育計画に取り込み、行事や調理のことだけではない、保育の一環としての食育の推進を図る。クッキングには保護者にも参加してもらい、交流を深めながらともに食育をしていく。

### 〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・12月）
歯科検診	年1回（6月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	別紙「2024年度保健計画」を作成し、実施していく。 ・手洗いの歌を一緒に歌いながら行うことで、手洗いに親しみを感じ、正しい方法を伝えていく。手洗いが習慣付いた園児には「手洗いマイスター」の称号を渡す。 ・手洗い、うがい、歯磨きの意味を絵本や紙芝居で伝え、少人数ずつ実践をして正しい方法を伝えていく。
流行が予測される感染症	通年・・・新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 夏頃・・・ヘルパンギーナ、手足口病 冬頃・・・インフルエンザ、ウイルス性胃腸炎
発作・痙攣等の対応のため	抗アレルギー剤・・・2名より預かり済み／0歳児冷蔵庫にて保管

の薬の預かり	
エピペン使用できるスタッフ	本日現在20名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員2名については4月1日までに受講予定
AED使用できるスタッフ (AED設置施設のみ)	本日現在20名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員2名については4月30日までに受講予定
その他保健に関する取組	新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

### 〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／春季・秋季 0歳児のみ年12回実施 歯科健診 年1回／6月
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

## 〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	プロジェクトを立ち上げ、リーダー中心に環境整備をしていく。
	実践予定内容	内部監査プロジェクト業務に環境整備を含めて取り組んでいく。幼児、乳児、分園リーダーが中心となり、毎月環境の振り返り、必要に応じて環境を変更していく。 園外で使用する遊具の点検をし、補充する。
2	計画・ねらい	本園：子どもの実態に合わせた環境の見直しをしていく。
	実践予定内容	期毎、もしくは適宜必要に応じて環境の見直しをしていく。
3	計画・ねらい	分園：玩具、教材の点検を徹底し、すぐに使えるように整理整頓していく。
	実践予定内容	玩具、教材の一覧表を用いて点検を実施。必要な玩具を適宜見直していく。

※適宜追加削除してください

## 〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

手作り遊具・家具一覧（本園）

No	遊具・家具名	設置場所	点検予定時期
1	コート掛け（4）	玄関	毎日
2	消火器カバー（2）	玄関、テラス入口	月1回
3	バケツ棚	乳児トイレ	月1回
4	避難はしごカバー	エントランス	月1回
5	押し入れ棚	押し入れ	月1回

手作り遊具・家具一覧（分園）

No	遊具・家具名	設置場所	点検予定時期
1	L字パーテーション	保育室	毎日
2	本棚	保育室	毎日
3	コの字棚	事務所	月1回
4	ままごと台	保育室	毎日
5	コート掛け	玄関	毎日

## 5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	過去の事例や予測される事故には職員全員周知の上、事故に発展することがないように注意喚起する。必要以上に危険回避をすることは子どもの「乗り越える力」「生きる力」を損なうことにもなりかねないので、職員全員の総意のもと意識の統一を図る
2	実践予定内容	日ごろより防犯に対する意識を高めるために、毎月避難訓練を実施・シミュレーションを行う
3	実践予定内容	事故・怪我においては心身共に苦痛を被った子どもと保護者の気持ちに誠意を持って応えることが重要である。どんな小さな怪我でも保護者に伝え忘れないようにする。また、前日のどんな小さな怪我（発熱なども含む）でも伝達することにより、翌日の担当保育者が保護者及び子どもに言葉をかけ、状況を把握するようにする
4	実践予定内容	救命士資格を有する職員集団のため、心肺蘇生、AEDの使用方法など、吐瀉の場合にも行動できるように訓練していく
5	実践予定内容	防犯（不審者）に対する訓練は1年で2回実施。更に日々の生活の中で常に意識することが重要である為、散歩時における対応や園内における対応の仕方など会議などで都度意識喚起をする
6	実践予定内容	園外保育におけるリスクマネジメント
7	実践予定内容	園内保育におけるリスクマネジメント
8	実践予定内容	水辺のリスクマネジメント

## 6. 実習生・中高生の受入

### 〈1〉今年度方針・テーマ

保育園は地域の社会資源であり地域研修の場でもあるという考え方を大切にし、地域におけるボランティアや次の世代を担う保育・福祉の現場で活躍する人材を育成するために、小中学生の体験学習の受け入れ、保育養成校の学生の受け入れ、一般および学生の各種ボランティアを積極的に受け入れる。

1	実践予定内容 大学生の受け入れ	・駒沢女子大学との保育実習や交流、採用
2	実践予定内容 小中高校生の受け入れ	・中学生の職場体験の受け入れ ・小中高校生ボランティアの受け入れ
3	実践予定内容 実習生の受け入れ	・子育て支援員研修の受け入れ ・保育養成学校実習生の受け入れ

## 新人研修

## 新人社員研修

## スタッフ研修

- 入社時オリエンテーション
- 現場OJT研修
- 保育品質マニュアル研修  
(事務研修・ケガケーススタディ研修含む)
- コンピテンシー研修
- 新人社員研修  
→ 会場研修
- 系列園保育実地研修

保育スキル研修



←お迎え  
対応研修



←避難訓練研修

- 全社員研修 (年1回)
- 園内研修 (月1回以上)
- 保育スキル研修 (エリア別)
- リーダー養成研修 (9~2月)
- 業務改善研修 (月1回)  
(=保育の質を上げる会議)
- 施設長勉強会 (月1回)
- デンマークインターンシップ (年1回)
- コンピテンシー自己採点 (月1回)
- 人権チェック (4月・10月)
- 外部研修
- 上級救命救急資格取得講習

## 7. スタッフ育成と研修計画

### 〈1〉 2024年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月19日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② スタッフ研修：子どもの人権 ③ ケガ・ケーススタディ研修	・人権について考え、日々子どもたちへの関わりについて振り返る。 ・怪我発生時の正しい対応についてフローを用いて学ぶ。
5月17日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② スタッフ研修：接遇	・接遇電話対応、保護者対応ロールプレイ
6月21日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② スタッフ研修：水遊び・プール研修	・水遊びにおけるリスクマネジメントの強化
7月19日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② スタッフ研修：さくらさくらんぼリズム体操	・リズム体操について実践を交えて学ぶ。
8月16日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② スタッフ研修：室内環境	・異年齢における室内環境について考える。
9月20日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② スタッフ研修：戸外の危機管理	・公園や散歩中の危機管理についてロールプレイ
10月18日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② スタッフ研修：食育研修	・食育の必要性について

11月15日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② スタッフ研修:子どもの人権	・人権について考え、日々の子どもたちへの関わりについて振り返る。
12月20日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 自己分析・振り返り	園、クラス運営の振り返り
1月17日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 今年度の保育計画、係の振り返り	・今年度の保育計画の振り返り ・係分担の振り返り、次年度の係分担を考える。
2月21日	13:00~14:00	① コンピテンシー自己採点	
3月21日	13:00~14:00	① コンピテンシー自己採点	

## 〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

## 〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（子育ての質を上げる会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											
全社員研修	9月1日~30日までの間に録画視聴（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定											
デスマークインターンシップ	希望するスタッフが応募											

## 〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

## 8. 地域交流計画

### 〈1〉今年度方針・テーマ

様々な世代の人や文化に触れ、人と関わる機会を大切にしていく。

### 〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：南山広場（仮）にて
商店街ツアー	週1回
世代間交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携を積極的に行い、多様な年齢層との交流の中で人とかかわりを大切にしていく。</li> <li>・「物おじせず、誰とでも目を見て話ができる子ども」を育む。</li> <li>・お年寄りを大切にする優しい心を育む。</li> </ul> （介護施設訪問ツクイデイサービス）
異年齢交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間との葛藤を体験しながらお互いを認め合い、自らを肯定する気持ちを育む。</li> <li>・自然体験活動など異年齢で体を動かし、遊ぶ活動を充実させ自分で考え、挑戦する勇気を育む。</li> </ul>
地域拠点活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のすべての子育て家庭を対象とし、毎月行う</li> <li>・小中高生の育児体験受け入れ</li> </ul>
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉

## 9. 小学校との連携の計画

### 〈1〉今年度方針・テーマ

- ・「5歳児と小学校1年生との年間連携計画および報告書」を作成 ※別紙参照
- ・アプローチカリキュラムの作成
- ・保育所保育要録の送付
- ・保育園から小学校への就学を円滑に進めるために、年長児が小学校へ行く機会を設け、特に小学校1年生との子ども同士の交流の場を設ける
- ・保育園での保育内容、小学校での教育内容をそれぞれのスタッフが理解し合える場を設け、相互に関連しつながらるように工夫する機会をつくる

### 〈2〉具体的な連携計画

以下計画について、小学校と相談・協議を6月頃より開始する。

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動計画(会場)	目的
----	----------	------	----------	----

11月頃	南山小学校 1年生	16名予定	校庭遊び（南山小校庭）	子ども間交流
11月頃	南山小学校 1年生	16名予定	室内遊び（当園幼児保育室）	子ども間交流
1月頃	南山小学校 1年生	スタッフ5名 予定	授業参観（第三小教室）	職員間交流

## 10. 要支援児計画

### 〈1〉 個別支援計画の作成・見直し

生活習慣、感覚機能、言葉、人とのコミュニケーションなどの項目で計画を作成し、評価を記録する。

### 〈2〉 毎月のケース会議開催

（4～3月に計12回開催予定 参加者：10名予定）

園児の状況を踏まえ、個別指導計画の見直しと課題、対応策について話し合う。  
インクルーシブ保育を実現するための課題と改善策、保護者支援の仕方について話し合う。

### 〈3〉 進級引継、および、小学校への引継

保護者の方の了承を得た上で、行政の機関と連携し、進学予定の小学校と情報を共有していく。

## 11. 子育て支援事業

園に訪れた親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	（月）～（土）9:30～16:30
子育て相談	（月）～（土）13:00～16:30
自然食堂…親子ランチ交流	隔週（火）10:00～11:00
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	隔週（火）10:00～11:00
勝手籠設置	（月）～（土）7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育（支援センター主催）	月1回 公園名：亀山下公園にて開催

## 1 2. 園運営の向上

### 〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

### 〈2〉園による自己評価の実施

2024年秋頃に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：8時30分

自己評価終了予定時刻：17時30分

自己評価実施予定者：施設長、主任、保育士、調理

### 〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

## 1 3. 3カ年計画の具体化

### 〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故のないインクルーシブ保育の実践</li> <li>・5歳児保育、2歳児保育の充実を図り、滑らかな移行を促進</li> <li>・デイリープログラムに沿った保育</li> </ul>
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な場面を想定した危機管理研修を園会議等の時間で行った。</li> <li>・本園と分園の交流、5歳児と1年生の交流の機会を作り、滑らかな移行ができるよう取り組んだ。</li> <li>・日課や基本の活動の改善に取り組み、概ね日課を毎日取り組むことができるようになった。</li> </ul>

### 〈2〉当年度以降の3カ年計画

2024年度	目指す姿	子どもが日々主体的な考え、実行できる環境が整っている。 大人が子どもの利益を最善と捉え、様々な体験の機会を用意し、感性が育っている。
	重点施策	子どもが求めていること、必要なことを捉える保育の目を養う。 本園分園を超えてスタッフ同士のコミュニケーションを図り、チームワークを深める。
2025年度	目指す姿	「見守る保育」が定着する。 子ども主体の保育が展開されている。

	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフそれぞれの個性が発揮され、職員集団のチームワークの良さが際立っている。</li> <li>・これまでにない保育の発想が見られるようになる。</li> </ul>
2026年度	目指す姿	<p>「見守る保育」が醸成される。</p> <p>稲城ルームの保育の特色が十分に発揮され、地域で選ばれる園となっている。</p> <p>スタッフ達が本園分園と2園あることを活かし、稲城ルームならではの保育が展開されている。</p>
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達を的確に捉えたスタッフ集団になり、クラスの枠を超えた異年齢保育を展開する。</li> </ul>

以上

作成日：2024年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ 稲城ルーム(本園・分園)  
施設長 泉 海翔